

奈良PHP友の会 12月例会の報告です

今年最後の例会、3つのテーマを全員で楽しくおしゃべりしました

👉日時12月6日(土)13時30分から16時30分
👉内容:①会員文集2025を読む ②PHP誌12月号の読書感想 ③一年後の私への手紙
👉出席者:12名参加



👉場所:奈良県女性センター
12月入会のTさん親子参加されました

①会員文集2025を読む

奈良から、10名が投稿しました

心に残る記事を紹介しあいました



●P6「主人に感謝の気持ちを伝えたい」 Aさん
御主人が亡くなつて三年半。御主人の心配をよそに
「今、人生を楽しんでいます。あなたのおかげ」と伝えたい
・元気な内に伝えたい言葉。でも言えない私…

●P29「言葉の力」 Hさん

言葉は大切。何気ない言葉が人に影響を与える
松下幸之助さんは、心に残る言葉を残している

・日本語学校で外人に日本語を教えている
「お疲れ様」は英語にない。大切にしたい日本の言葉

●P31「感動！母校を誇りに思った日」 Fさん

・母校の出雲の大社高校が夏の甲子園に出場
勝利校歌に涙！
・竹内まりやさんは、我が母校出身。テレビ番組で
恩師と対談。懐かしさに涙…



「会員文集2026」原稿大募集中！
2025年12月31日(水)必着です！

②PHP誌12月号の読書感想

●裏表紙「心の声」

・自ら行動をおこし、何かをしたいということが
なくなってきた。「現状維持」が精一杯…
●特集「捨てる」と人生が好転する
・なかなか捨てきれない。妻が3年前に亡くなった
着物など何にも手をつけられない
・無理に「捨てる」必要はない。
年をとると段々と忘れていく…何がどこにあるか
判らなくなる…

●栗山英樹の読書ノート

「ガルシアへの手紙」・1億人が読んだベストセラー
・購入して一気に読んだ。簡単なストーリーだが
色々な言葉が散りばめられており、新鮮な感じ。

③一年後の私への手紙

●2024年12月に書いた自分宛の手紙を開封
・悩んでいた白内障の手術成功！新しい人生が
見えてきた
・ゴルフ、安定して80台をキープ
・本 年間購読数40冊目標。36冊に修正

